

2023年度

科目名称	生活環境論
授業コード	BL279
英語名称	Environment for Human Life
学期	2023年度前期
単位	2.0
担当教員	宮本 佳子 (医療科学部), 三木 良子 (医療科学部), 楠永 敏恵 (医療科学部), 津田 彰 (共通・教職資格系科目・卒業生発行区分), 浅沼 太郎 (医療科学部)
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	必修科目「福祉科学セミナー」に取り組むための基礎的な学習を行う。「福祉科学セミナー」では、直接的に住民とかがわるため、その際に求められる専門職倫理を理解した上で、対人マナーやコミュニケーション技術、および基礎的な介助の知識と技術を学習する。授業では演習を多く取り入れ、実践力を培う。
科目に関連する実務経験と授業への活用	福祉・医療の専門職として実践を行ってきた経験を活かし、支援を必要とする地域に住む方々への関わり方や支援のあり方について指導する。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人とのかかわりにおける適切なコミュニケーションについて説明することができる。 ・住民の暮らしの実態と人の生活を支える制度について考察することができる。 ・車いすや杖を用いた移動介助において、注意事項を説明することができる。 ・ITの活用之际、法令を遵守し、情報を適切に運用することができる。 ・ディプロマポリシーに掲げる「社会福祉に関する基本的な知識や技術を習得している」が実現するよう、授業では福祉分野における様々な課題に対する実践的な取り組みを通して基本的な知識や技術を身につける。
計画・内容	<p>第1回 オリエンテーション (担当: 全員) 人と人とのかかわり マナー</p> <p>第2回 人と人とのかかわり コミュニケーション (基本) (担当: 宮本) 空き家活動 見学 (担当: 楠永・浅沼)</p> <p>第3回 人と人とのかかわり コミュニケーション (応用) (担当: 宮本) 空き家活動 活動準備 (担当: 楠永・三木)</p> <p>第4回 人と人とのかかわり コミュニケーション (丁寧に聴く) (担当: 三木)</p> <p>第5回 人と人とのかかわり コミュニケーション (高齢者・認知症の方) (担当: 宮本)</p> <p>第6回 生活支援技術の基礎 移動介助 (担当: 楠永・宮本)</p> <p>第7回 生活支援技術の基礎 車いす介助 (担当: 宮本・楠永)</p> <p>第8回 生活の成り立ちと家庭経営 (担当: 三木・浅沼)</p> <p>第9回 高齢者の心理 (担当: 楠永)</p>

2023年度

<p>計画・内容</p>	<p>第10回 健康づくりとストレスマネジメント（担当：津田・三木）</p> <p>第11回 地域におけるお便利ツールの開発 課題説明（担当：浅沼）</p> <p>第12回 地域におけるお便利ツールの開発 地域住民と環境の理解（担当：浅沼）</p> <p>第13回 地域におけるお便利ツールの開発 グループワークによる課題作成（担当：浅沼）</p> <p>第14回 地域におけるお便利ツールの開発 成果物発表会（担当：全員）</p> <p>第15回 総括・まとめ（担当：全員）</p> <p>各回において、担当教員による実務経験を活かした授業を行う。</p>
<p>授業の進め方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実践力を培うために演習や実技を多く取り入れる。 ・全体、グループ、個別の各学習形態をとりながら他者との関わりを通して理解を深める。特にグループ学習では、自己の役割を理解し、積極的な授業への取り組みが期待される。
<p>能動的な学びの実施</p>	<p>グループワークや、演習を積極的に取り入れる。</p>
<p>授業時間外の学修</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・予習として提示された課題について調べ、不明な点をまとめておく。（1時間） ・復習として、取り組み内容を整理したり、課題に取り組む。（1時間） ・グループ活動時は、グループでの自己の役割を理解し、各自事前準備をする。（1時間）
<p>教科書・参考書</p>	<p>特になし</p>
<p>成績評価方法と基準</p>	<p>期末レポート（40%）、成果物（20%）、授業への取り組み態度（40%）</p>
<p>課題等に対するフィードバック</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リアクションペーパーの内容に対し、全体に向けてフィードバックを行う。 ・学生の発表に対し、その場でコメントを行う。
<p>オフィスアワー</p>	<p>campussquareを参照</p>
<p>留意事項</p>	<p>本科目は学科の必修科目であるので、必ず履修すること。</p>
<p>非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」</p>	<p>授業の進め方 Zoomによるオンライン授業で行う。Zoomで出席する際は、常に画面をオンにしておくこと</p> <p>成績評価方法と基準 変更なし。</p>